



# かけはし

令和4年(2022年)

長沢中  
学校だより

7月20日

発行責任者

NO. 20

校長 星野 嘉朗

学校教育目標 命一杯に生きる ~向上心 貢献心 自立心~  
深く考え行動する生徒



14・15日の三者面談は蒸し暑い中、ありがとうございました。夏休み中に予定されている面談もありますが、宜しく願いいた

します。今大変になっているのは、新型コロナウイルス感染症の「第7波」の到来です。陽性・濃厚接触が着実に増えています。大きな制限がない中で、基本的な感染対策は各自で考え行っていかねばなりません。

学校としても「学び」を継続していくために、やるべきこと、できることはしっかりと対応していきたいと思えます。

## 目指す姿に近づくことが できたのか？

いよいよ夏休みが始まります。今年度は、4月からコロナの状況が落ち着いていたこともあり、コロナ前とはいかないものの、様々な活動が大きな制限がない中で、取り組むことができました。4月から3カ月半、中学校生活を通して一人ひとりはどうのように成長したでしょう。三者面談でもそんな話題になったのではないのでしょうか。夏休みは40日弱あります。自分なりにゆっくり振り返る時間を持つことができるとよいと思えます。1年間の3分の1が終わったところで、自分なりに成長したところ、課題となるところはどん



なところなのか、明らかにするのはちょっと苦しいかもしれないけれど、大切なことです。それ

が、次へのステップとなるはずで

です。さて、学校としてはどうでしょうか。目指す生徒の姿「深く考え行動する生徒」に一人でも多くの生徒が近づくことができているのか、振り返る必要があります。「プロジェクトN」は、多くの生徒が「生活のきまり」のあり方について考えていく重要な機会でした。第1回生徒総会でも、たくさんの意見が出されました。多くの人が考えてくれたということです。きまりを見直すということは、ただああしたいから、こうしたいからとか、自分にとって都合がよいからということだけではありません。「生活のきまり」が色々な項目にわたって決められてきたのには、それぞれに背景があるはずで



す。多くはトラブルのもとになる行為であったり、生徒のみんなの生活が崩れていってしまうものであったり、何より学校生活全体が大きく揺れて、授業がなかなか成立しなかったり、一人ひとりに落ち着いた学校生活を送ることができなくなってしま

う状況を作り出してしまったからです。その背景を理解して、長沢中学校の今よりも、もっと一人ひとりの生徒が落ち着いて学ぶことができ、学校生活を送ることができる学校にするための取り組みであるということを理解してほしいです。現状にそぐわないものや、必要のないものは変えていくことも大切なことです。それと同時に変えるということは、そのことに対して責任を持たなければならないということでもあります。生徒のみんながとる責任とは何でしょう。決まったことはみんなで守るということも一つ。その背景にあったリスクを理

解して、学校生活全体が乱れてしまったり、落ち着いて授業に取り組めなくなったり、生活できなくなってしまわないために、どうすればよいか「深く考え」実際に「行動する」ことを、みんなでできるようにしていくことが、「責任」を取るということです。何回も開いた中央委員会で決まった試行期間が、夏休み明けから始まります。大きな一歩にしていくなのはみんな自身の行動なのです。

## 2年 MTTポスターセッション



6月28日(火)午後。2年生のキャリア教育(総合的な学習)の一環として、横須賀商工会議所とのタイアップで、MTT(マイタウンティーチャー)の6名の講師をお招きして、ポスターセッションを行いました。

漫画家の藤臣さん、は漫画の描き方ではなく、漫画のプロとしての1冊の本が出来上がるまでの流れを。横浜テクノオート専門学校の鈴木さんは実際の自動車を使ってタイヤ交換の実技から。横須賀市消防局の中原さんは実際の消防車に積まれている装備の説明や、消防士の仕事について。湘南衣笠ゴルフの岩室さんは、スタッグゴルフの体験授業からプロゴル

ファーという職業について。かながわ信用金庫の蒲原さんは銀行の仕事やお金を借りることの意味について。ユニクロ大津店の鈴木さんは服を売る仕事と職場のマネジメントについて。それぞれにお話ししていただきました。それぞれのプロの方の実際の話を知る事は、これからの自分の生き方を探っていくのには、大きな刺激でした。

先進的な授業を目指して…

## フロンティア研究研修会

7月1日は、2年生の3クラスで、本校が研究を行っている「生徒が」主体的対話的で深い学びに取り組む授業づくり(フロンティア研究)の今年度2回目の研修を行いました。今年で4年目の研究



で、10月には本発表を控えています。今回はスーパーバイザーの西留安雄先生だけでなく、高知県の越知町から教育長、越

知小学校・越知中学校の校長先生と研究担当の先生、そして、越知町教育委員会の先生も見え、授業とその後の協議、研修まで視察されていられました。もちろん、市の教育委員会からも担当の指導主



事、教科担当の指導主事の先生方もお見えになり、校内研修でしたが、本番見むけてのプレ発表会のようなものでした。授業の中身についても、生徒の動きを中心に高い評価をいただきました。協議の冒頭に3年生からの授業見学後の課題や成果についての話も、生徒の成長を感じさせるものでした。10月にむけて、日常の授業を大切にしていかなければなりません。

